

『SAG スキークラブ』に関する基本構想

岐阜県スキー連盟アルペン部

2019年6月から、『SAG スキークラブ』の活動をスタートさせていただきます。

今日の岐阜県では、残念ながら子供達、特に中学生がスキーのための陸上トレーニング、雪上トレーニングを、年間を通じて定期的に継続して行える環境はありません。小学生の間スキーを続けてきた子供が、中学校でもスキーをやりたいと思っても、部活動としてのスキー部はありません。また、中学校において、「部活動」を取り巻く環境は、「教員の働き方改革」や、「部活動ガイドライン」等により大きく変わろうとしており、「スポーツにおける新たな枠組み」が必要な時代に入ってきています。

本クラブは、中学校部活動や、地域スポーツ少年団・ジュニアスキーチームの活動を妨げるものではなく、子供達、特に競技スキーを志す中学生の活動環境を整えることが目的であり、選手数の激減、ウインタースポーツの衰退が進むなか、スキーを通じた人材育成が主たる目的です。

現在の状態のままでいくと、スキーを続ける子供は減少し、それに伴い指導者、競技運営に精通した人材等の減少も招きます。そして、県教育委員会、県体育協会、関係学校などの諸機関、諸団体との関係が形骸化し、予算も含めた信頼関係が大きく崩れ、現状の活動を維持していくことは、困難な状況となり、岐阜県のスキー界が、大きく衰退していくことは明らかです。

岐阜県にはスキー場がたくさんあります。11月から滑走可能なクラッシャーゲレンデや、夏に滑走可能な乗鞍岳雪渓やサマーゲレンデもあります。1年間のうち、約10ヶ月はスキーを履いて練習しようと思えばできるのです。

そこで、スキー競技を志す子供達、特に中学生が、年間を通じてスキーのための活動を地元ベースで継続できる組織の設立が必要なのです。スキー競技を、年間を通じて活動できるスポーツにするための“新しい枠組み”。それが、SAG スキークラブです。

SAG スキークラブの主たる活動方針は、『“短時間”の練習を“長期間、定期的”に行う』ことです。この方針は、着実に技術の定着に結びつきます。技術の定着は、子供に達成感、満足感、充実感をもたらし、意欲を高める最大の薬となります。また、中学生はスポーツ以外に学業も、家族との時間も、友人との時間も、読書なども必要な時期です。“短時間の練習を、長期間、定期的に行うことは、時間的な余裕を確保した中で、バランスよく”心技体“を高めていくためでもあるのです。そして、この方針は、活動場所を地元中心とすることで、個人負担を抑えることにもつながります。

ただし、この活動方針には、一つ条件があります。それは、我々指導者、関係者が学び続けなければならない、ということです。短時間で効率よくトレーニングを行うには？一斉指導、グループ別指導、個別指導どれを選択すればよいのか？いつもと同じバーンでも子供を飽きさせないトレーニングバリエーションがあるか？セッティングは？といったトレーニング、指導方法に関することから、あの子何か悩んでいるのかな？あの二人は喧嘩したのかな？返事の声がいつもより小さかったけど何かあったのかな？といった子供を観察する力まで、多岐に渡りますが子供を育てるには必要なことです。

また、クラブをマネジメントしていく“組織”についても常に変化、改善が必要となります。今日では、県や行政からの補助金のみを頼りしては、安定した活動を長く続けることはできません。活動に係る経費を「参加費」という形で集めさせていただき、活動にかかる経費、クラブ運営費に充てていくことが必要です。将来的には、“プロスキーコーチ”を実現させることで、さらに安定し、活発な活動が可能になると考えられます。

そのために必要なことは、「関係機関に信頼していただける組織作り（規約、定款）」、「クラブの目的を理解してくれ、活動してくれる人材に対する対価（予算）」、「活動に必要な備品、消耗品（予算）」「主たる活動場所の確保」です。全てが完全に揃ってのスタートではありません。困難なことが多いと思われれます。しかし、時代の変化に遅れず、新たなスポーツの枠組みをスタートさせ、スキーを志す子供たちが増えていくことを目指します。

“SAG スキークラブ”の出発です。